



NS Solutions

2008年3月期 決算説明会

2008. 04. 25

代表取締役社長 北川 三雄

新日鉄ソリューションズ株式会社

2008年3月期 連結決算ハイライト



(億円)

	2007/3期 (実績) A	2008/3期 (実績) B	対前年 差異 B-A	2008/3期 (前回公表値) C	対公表値 差異 B-C
売上高	1,565	1,654	+ 89	1,670	- 16
業務ソリューション	926	1,019	+ 93	1,010	+ 9
基盤ソリューション	245	222	- 23	230	- 8
ビジネスサービス	394	413	+ 19	430	- 17
売上総利益	333	356	+ 23	357	- 1
<売上総利益率>	<21.3%>	<21.5%>	<+ 0.2%>	<21.4%>	<+ 0.1%>
販管費	-192	-207	- 15	-205	- 2
営業利益	141	149	+ 8	152	- 3
経常利益	144	152	+ 8	155	- 3
当期純利益	81	84	+ 3	87	- 3

サービス・顧客業種別の売上高（2008/03期実績）



（億円）

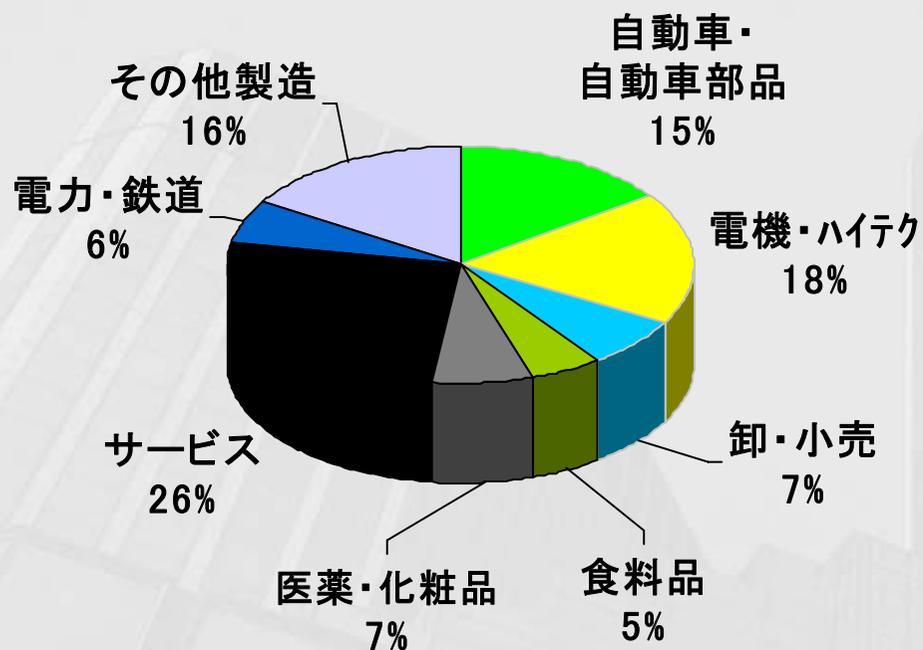
サービス/業種	2007/3期 （実績） A	2008/3期 （実績） B	対前年 差異 B-A	コメント
業務ソリューション	786	865	+ 79	
産業・流通・サービス	361	386	+ 25	製造業向けで成長
金融	249	276	+ 27	メガバンクを中心に拡大
社会公共他	176	203	+ 27	中央省庁向け大型案件が寄与
基盤ソリューション	222	193	- 29	プロダクト販売が低調
ビジネスサービス	390	409	+ 19	鉄鋼向けで増収
単独計	1,398	1,467	+ 69	
子会社等	167	187	+ 20	JVで拡大
合計	1,565	1,654	+ 89	

産業・流通・サービス及び金融向けの内訳 (2008/03期)

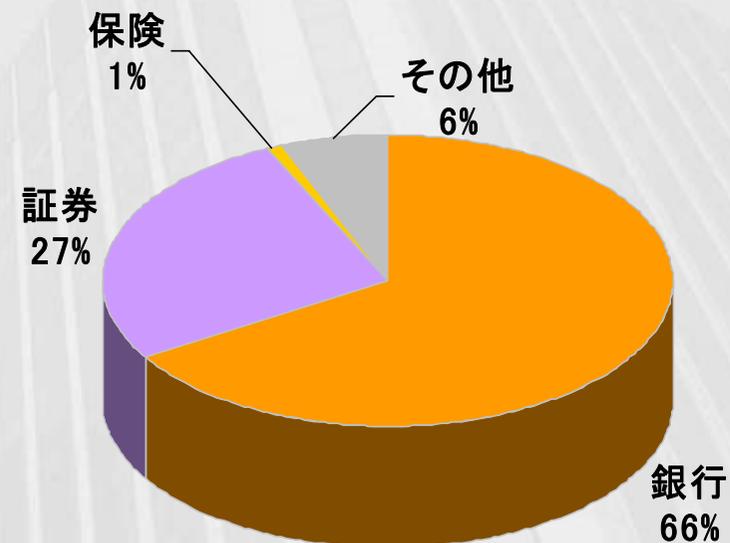


NS Solutions

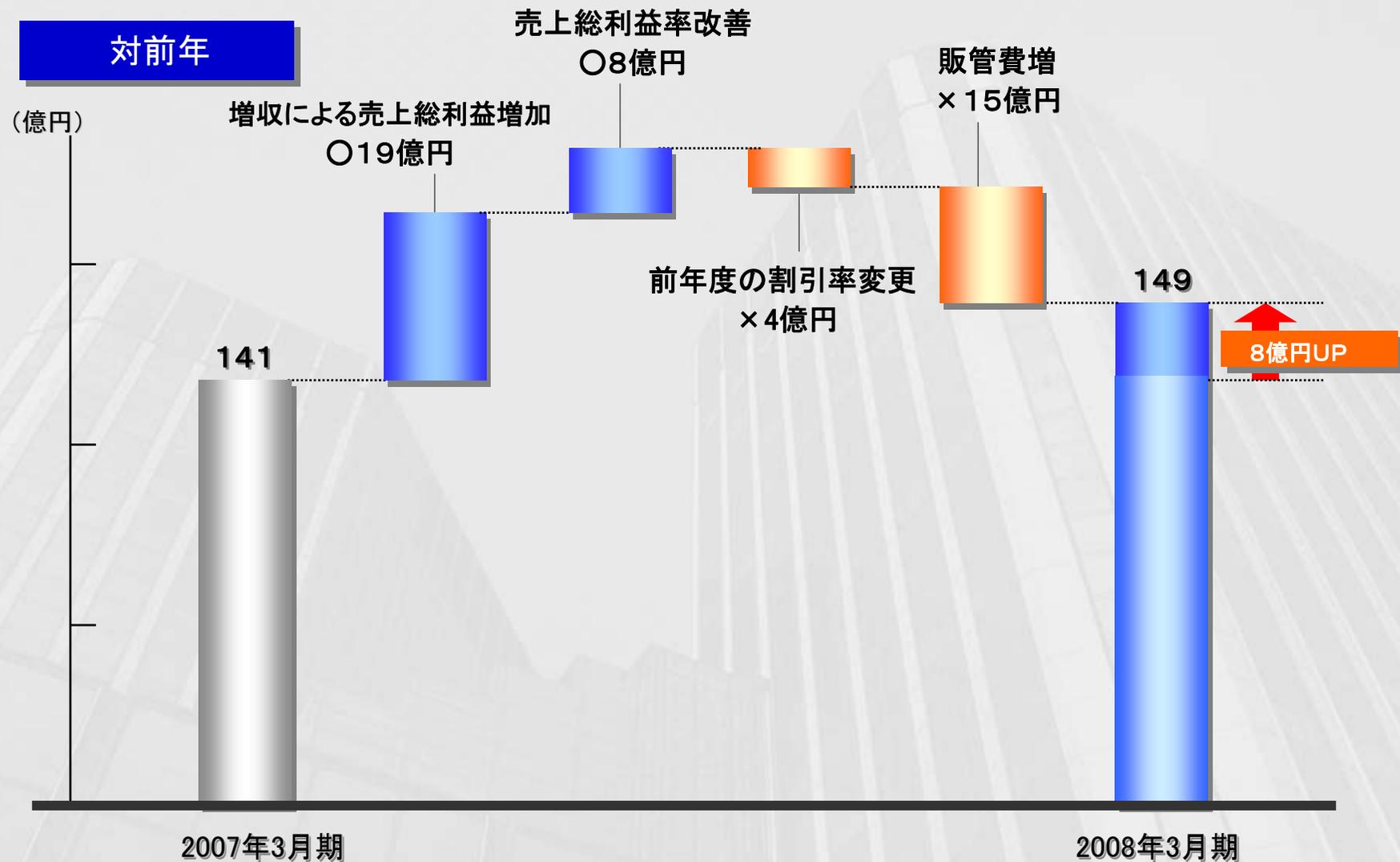
産業・流通・サービス



金融



2008年3月期 連結営業利益分析



2009年3月期 連結業績見通し

(億円)

	2008/3期 (実績) A	2009/3期 (見通し) B	対前年 差異 B-A
売上高	1,654	1,700	+ 46
業務ソリューション	1,019	1,055	+ 36
基盤ソリューション	222	220	- 2
ビジネスサービス	413	425	+ 12
売上総利益	356	374	+ 18
<売上総利益率>	<21.5%>	<22.0%>	<+ 0.5%>
販管費	-207	-218	- 11
営業利益	149	156	+ 7
経常利益	152	160	+ 8
当期純利益	84	89	+ 5

サービス・顧客業種別の市場認識

サービス・顧客業種	市場認識	市場動向
業務ソリューション 産業・流通・サービス 金融 公共	<ul style="list-style-type: none"> ・大手流通・サービス業は積極的なIT投資を継続 ・製造業は円高・原材料高などを背景に先行きに不透明感 ・メガバンクは需要規模が高水準で推移 ・証券は先行きに不透明感 ・政府は調達制度改革の本格運用を開始し 当社の参入機会増大 	→ → →
基盤ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジニアリング需要は堅調 ・プロダクト販売は低調 	エンジニアリング → プロダクト →
ビジネスサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・データセンター需要は旺盛も供給増により需給軟化 ・SaaS型ドキュメントソリューションの需要は堅調※ 	→

※ SaaS: Software as a Service

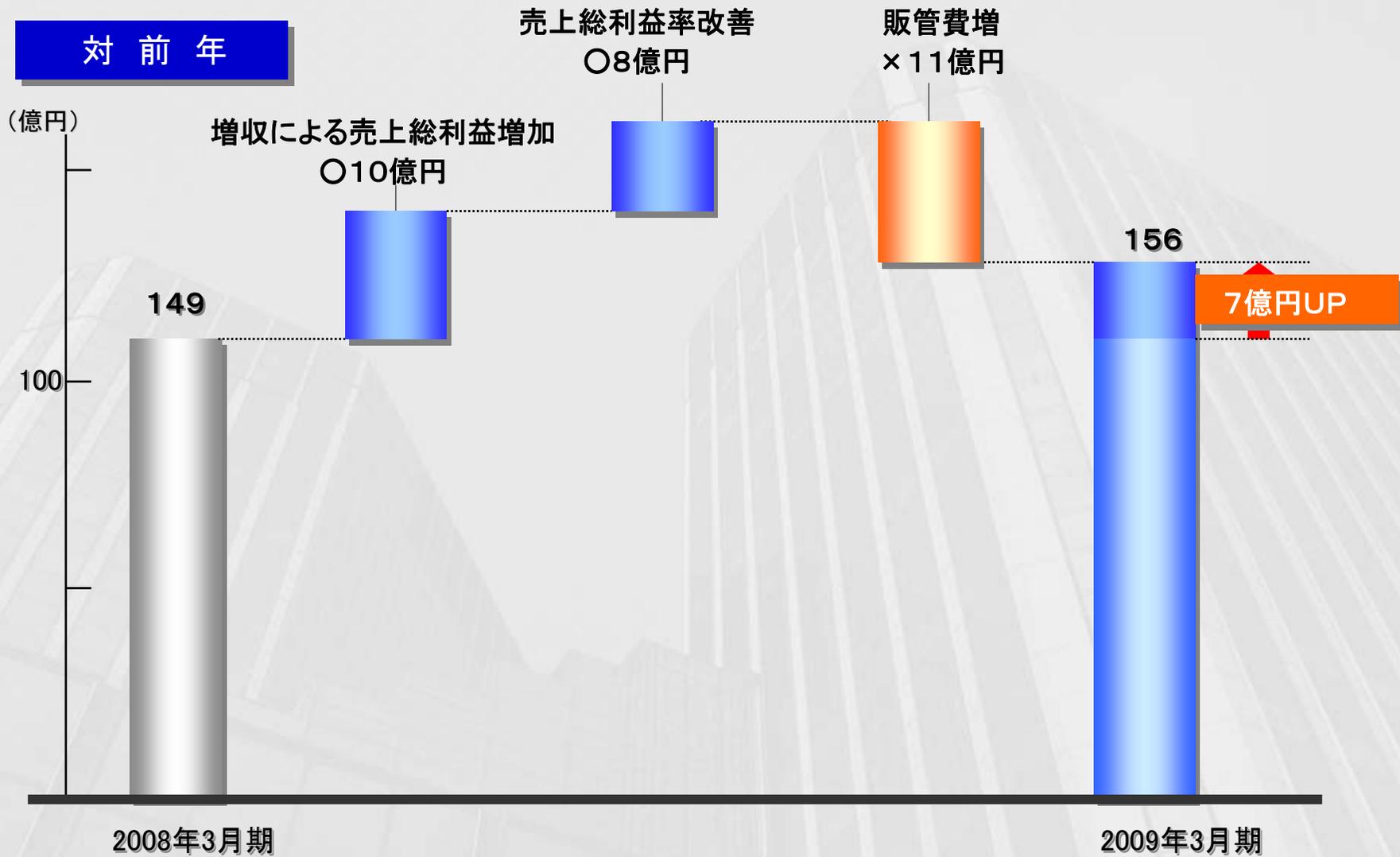
サービス・顧客業種別の売上高 (2009/03期見通し)



(億円)

サービス/業種	2008/3期 (実績) A	2009/3期 (見通し) B	対前年 差異 B-A	コメント
業務ソリューション	865	895	+ 30	
産業・流通・サービス	386	395	+ 9	流通・サービス向けで増収
金融	276	285	+ 9	メガバンク等を中心に拡大
社会公共他	203	215	+ 12	衛星・科学分野を中心に拡大
基盤ソリューション	193	200	+ 7	エンジニアリング・プロダクト保守で成長
ビジネスサービス	409	420	+ 11	一般向け増収
単独計	1,467	1,515	+ 48	
子会社等	187	185	- 2	
合計	1,654	1,700	+ 46	

2009年3月期 連結営業利益分析



2009年3月期 上下別連結業績見通し

(億円)

	2008/3期(実績)		2009/3期(見通し)		対前年差異	
	上期 A	下期 B	上期 C	下期 D	上期 C-A	下期 D-B
売上高	760	894	740	960	-20	+66
業務ソリューション	447	572	425	630	-22	+58
基盤ソリューション	102	120	100	120	-2	+0
ビジネスサービス	211	202	215	210	+4	+8
売上総利益 <売上総利益率>	165 <21.8%>	191 <21.4%>	164 <22.2%>	210 <21.9%>	-1 <+ 0.4%>	+19 <+ 0.5%>
販管費	-102	-105	-106	-112	-4	-7
営業利益	63	86	58	98	-5	+12
経常利益	65	87	60	100	-5	+13
当期純利益	35	49	33	56	-2	+7
期首受注残高	440	546	479	—	+39	—

持続的成長軌道の確立と更なる成長の加速へ

システム構築実力の向上

- 組織的システム開発技術力の継続的向上
- ソフトウェア開発センターの設立準備

ソリューション・先進技術開発力の強化

- システム研究開発センターの充実
- SOA(Service Oriented Architecture)及びグリッド・ユーティリティ・コンピューティングの推進
- BI(Business Intelligence)ソリューションの確立

事業基盤の強化

- BCM(Business Continuity Management)
- 外部人材マネジメント

人材育成の拡充

- 人材育成イニシアティブの確立
- 技術標準に基づくプロセス教育の充実

持続的成長軌道の確立と更なる飛躍に向けて

収益力の拡充・強化

- 受注力強化と先進的SLCトータルソリューションの拡充※
- 連結経営管理体制の整備(地域子会社運営体制の強化及び鉄鋼ソリューション体制整備)

システム構築実力の向上

- ソフトウェア開発センターの稼動・本格展開
- 標準化を中心としたNSSOL WAYの一層の整備

人材育成の継続的推進

- 三位一体運営と能力開発の強化

※ SLC: System Life Cycle

受注力強化と先進的SLCトータルソリューションの拡充※1

受注力強化

- プロジェクトの選択と集中の強化
- お客様の構想・企画段階の受注前・コンサルティング活動の強化
- ソリューション企画・コンサルティングセンター(「SCC」)拡充
- SCC、システム研究開発センター及び各事業部の連携による新規ソリューション創出力強化

統合基盤ソリューションの展開

- 統合エンジニアリング力の強化
- 仮想化技術・グリッドコンピューティング技術による
 - ・NSGRANDIR(グリッド構築工法) 拡販※2
エヌエスグランディール
 - ・absonne(グリッド・ユーティリティ・サービス) 拡販※3
アブソンス

運用保守

先進的SLCトータルソリューションの拡充

- サイロ型アプリケーション・インフラ開発から統合基盤上のアプリケーション実装まで

※1 SLC: System Life Cycle
※2 NSGRANDIR: NS Solutions Grid And Dynamic Infrastructure
※3 absonne: advanced business space on network

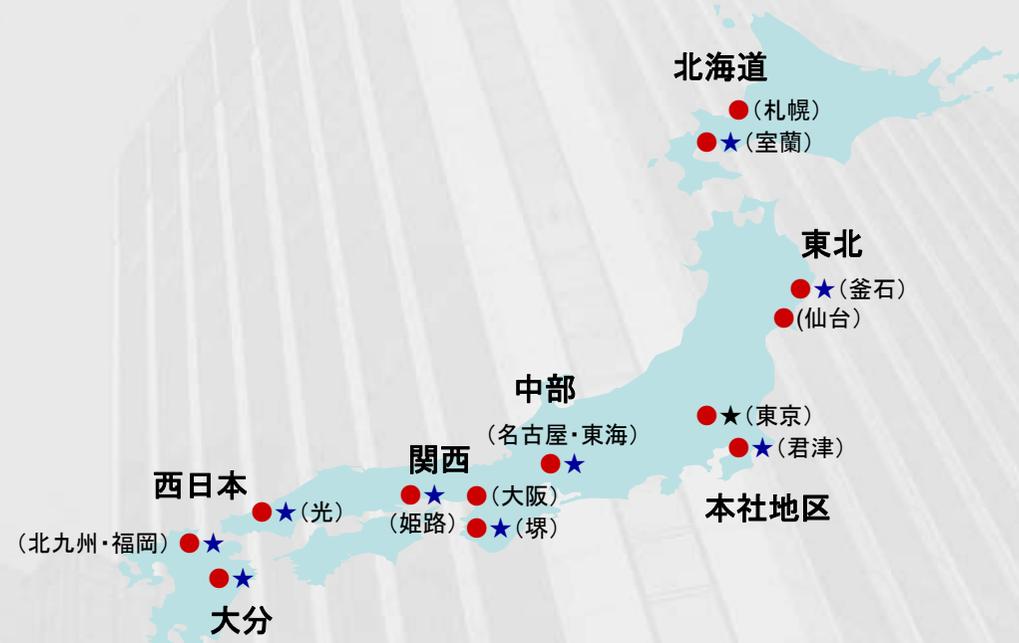
収益力の拡充・強化-2

連結経営管理体制の整備(地域子会社運営体制の強化及び鉄鋼ソリューション体制整備)

● 連結経営管理体制図



● 当社国内事業所マップ



● 競争力強化施策の検討実施

● 標準化等による地域子会社技術の向上

● 新日鉄ソリューションズ(株)事業所、地域子会社(7社)

★ 新日本製鐵(株)・各製鐵所

★ 新日鉄ソリューションズ(株) 鉄鋼ソリューション事業部各システムセンター

システム構築実力の向上-1

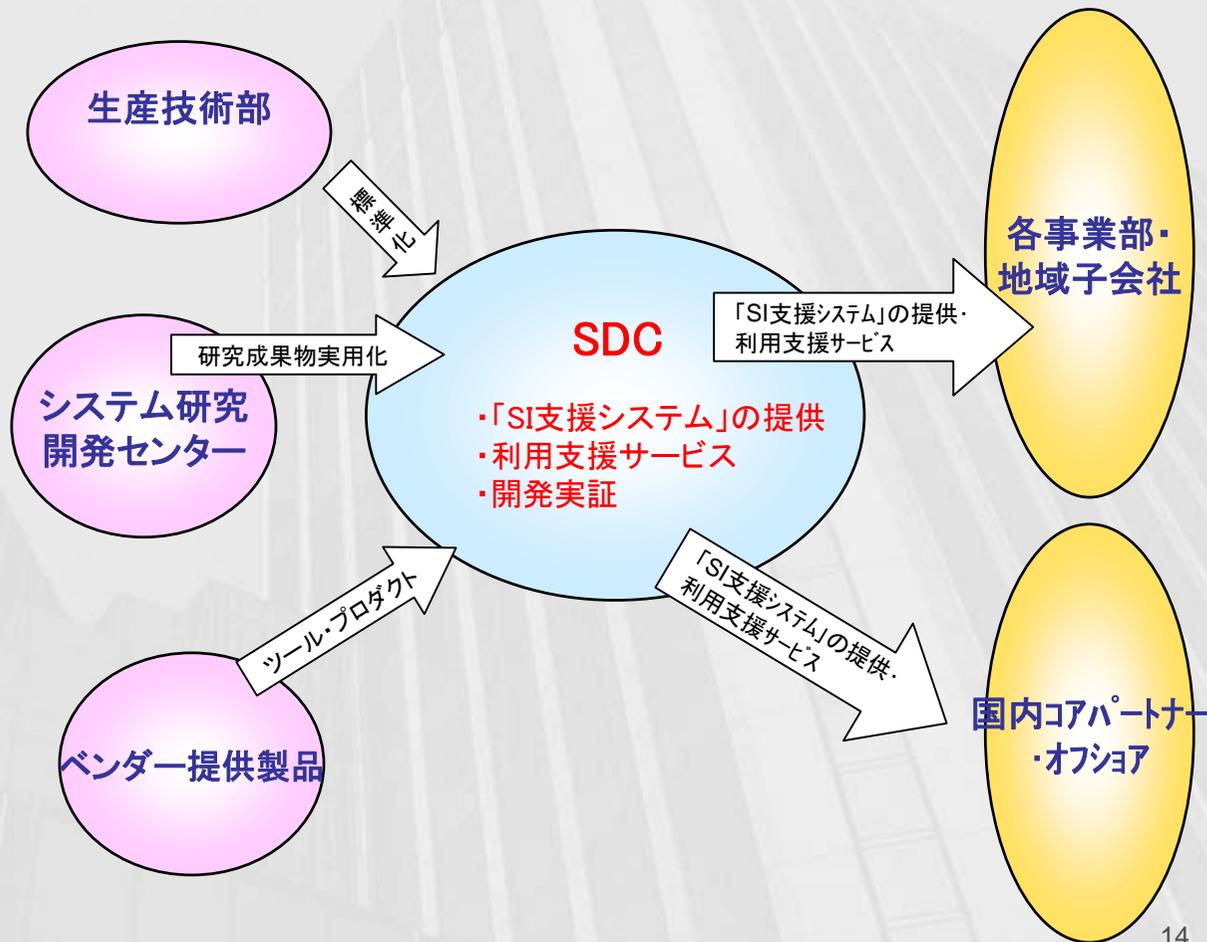
ソフトウェア開発センター (Software Development Center: SDC)の稼動・本格展開

- SDCの発足 (2008年4月1日)
- SDCの役割

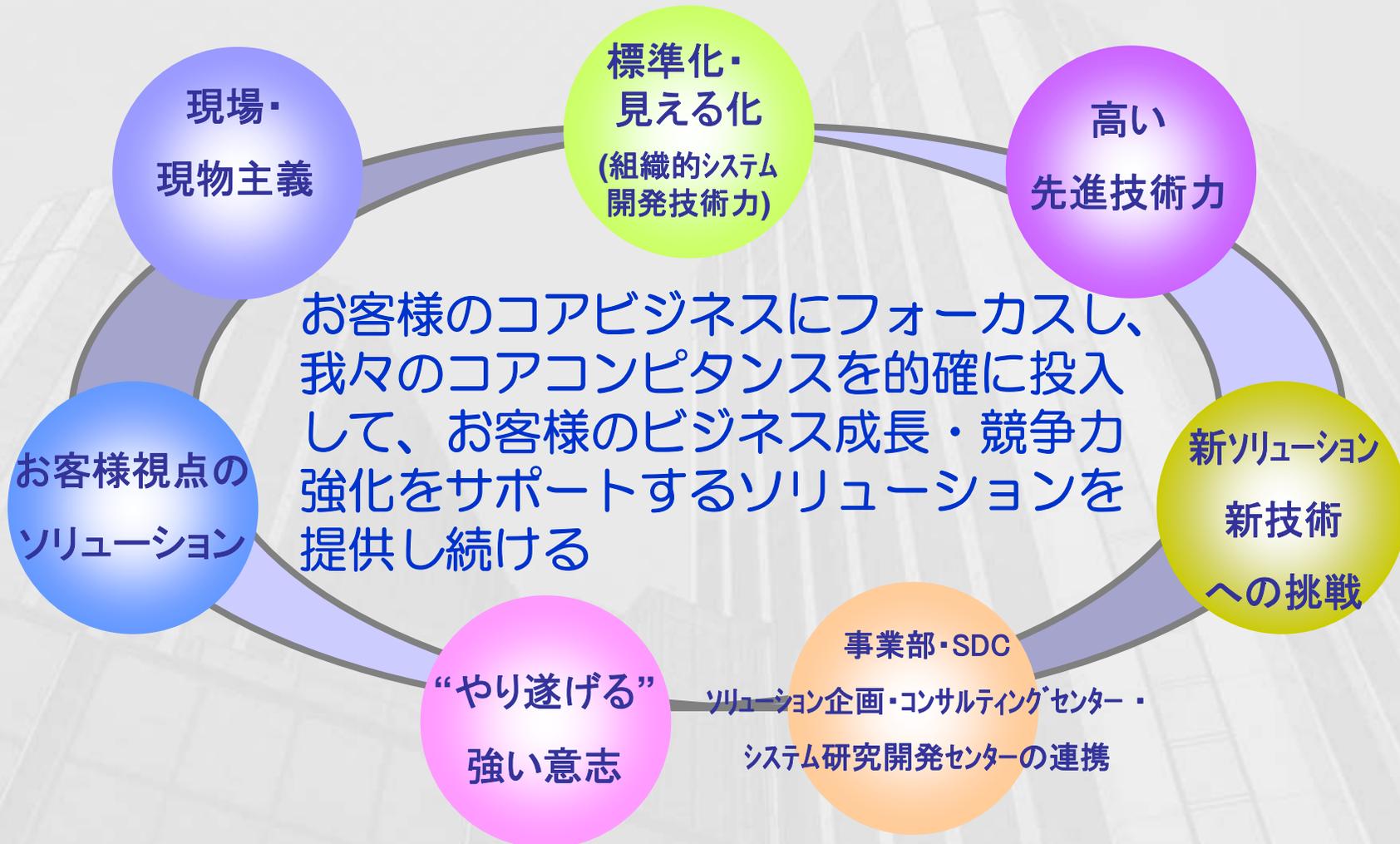
- 全社標準開発プロセス(システムライフサイクル標準)と全社開発環境(「EDO」)の統合

- これを有効なツールやシステムとして実現しSI業務を支援。SDCはこの「SI支援システム」のオーナーとして現場へ提供

SDCはソフト開発における新しい形の「次世代ソフトウェア工場」



標準化を中心としたNSSOL WAYの一層の整備

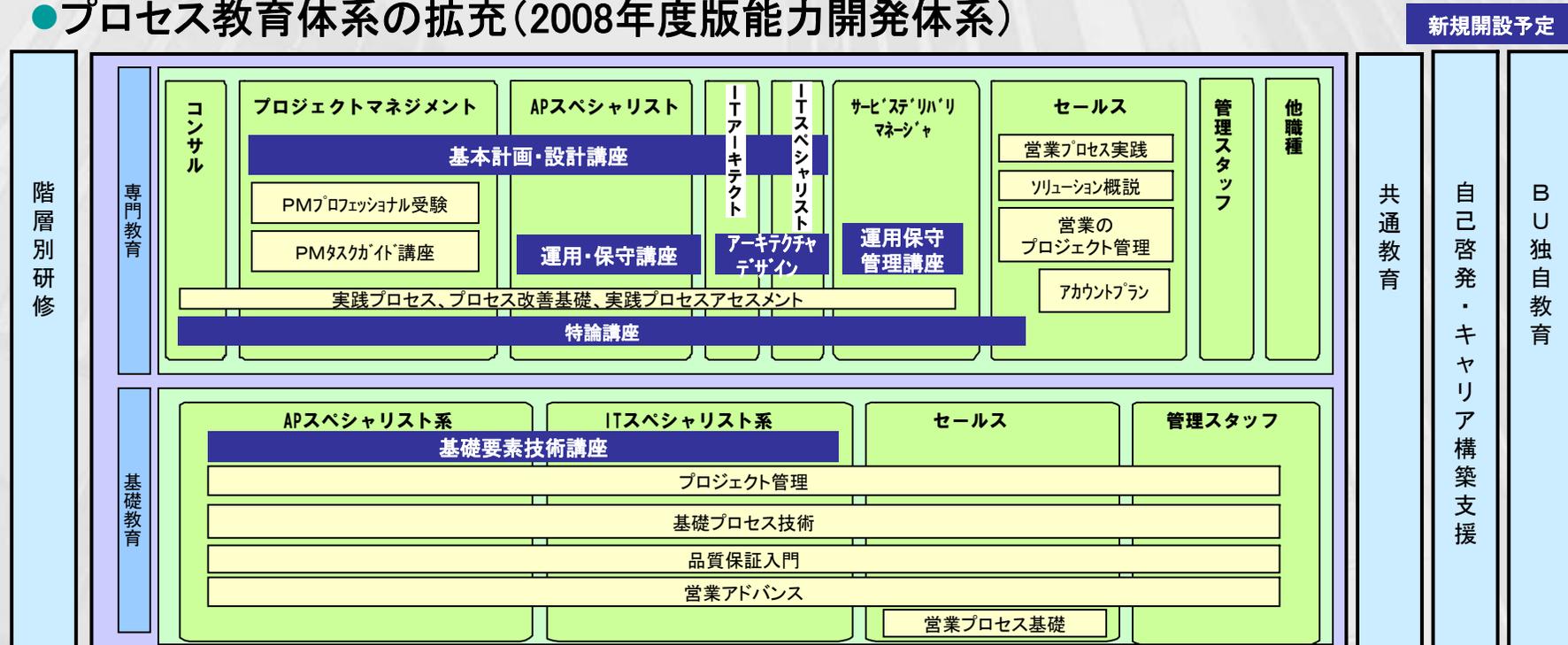


三位一体運営と能力開発の拡充

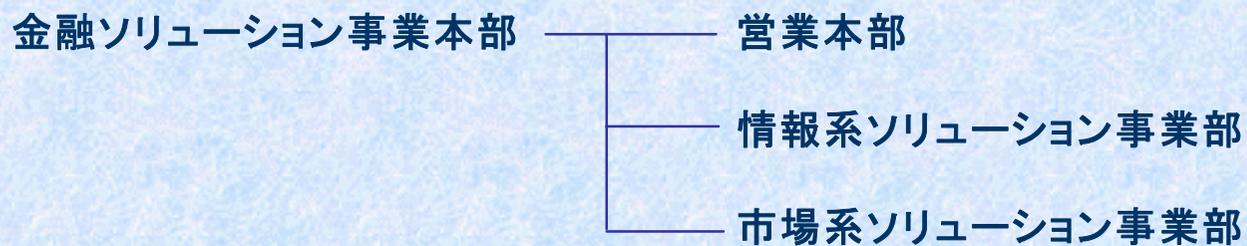
●三位一体運営



●プロセス教育体系の拡充(2008年度版能力開発体系)



- **金融ソリューション事業本部への改組による体制整備**
(2008年4月1日)



- **EUSC(Embedded & Ubiquitous System Center:組み込みソフトウェアセンター) 設立**
(2008年4月1日)

- ◇ 安定配当と将来の事業拡大等に備えた内部留保の確保
- ◇ 史上最高益を更新
- ◇ 株主への利益還元



1株当たり年間配当金を増配する計画

2008年3月期
40.00円



2009年3月期
45.00円

本資料には当社又は当社役員の当社の営業成績及び財政状態に関する意図、意見又は現時点の予想と関連する将来予想が記載されております。従って、この将来予想は、歴史的事実でも将来の業績を保証するものでもないため、リスクと不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。当社は、この将来予想を、これらの変化要因を反映するために修正することを保証するものではありません。



<http://www.ns-sol.co.jp/>

NS Solutions、NSSOL、NSロゴ、NSGRANDIR、absonneは、新日鉄ソリューションズ株式会社の商標又は登録商標です。
その他、資料中に記載の会社名・製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。